

# 日本赤十字社 小清水赤十字病院 医療情報システム基本要件仕様書

2025年2月21日

小清水赤十字病院 電子カルテ導入検討委員会

## <はじめに>

提案依頼仕様書は、当院が病院情報システムを構築するにあたり、ソフトウェアおよびハードウェアに係わる最低限の条件を示すものである。

## <病院概要>

名 称：日本赤十字社 小清水赤十字病院

所在地：北海道斜里郡小清水町南町2丁目3番3号

電 話：0152-62-2121

U R L：http://www.phoenix-c.or.jp/~krchp/access.html

## <調達目的>

小清水赤十字病院では、電子カルテ・オーダーリング・看護支援・医事会計システム（以下「基幹システム」という）や部門システムの導入計画に基づき、2025年11月1日システム本稼働を前提としたシステム構築を行う。

本調達は、基幹システム及び部門システムに係る機器を導入し、基幹システムおよび部門システムの設計・構築・運用・保守及び、各システムの保守を実施し安定した稼働を行うことを目的としている。また、基幹システムベンダ開発の部門システムを出来るだけ多く提案することによる情報一元化も今回の最大の目的である。

## <システム化要件>

今回の提案範囲は以下の通りとする。提案基幹システムは同一バージョンで最低10年間は利用できること。また、部門システムとLANネットワークにて連携し、トータルなシステムとして機能する事を前提とする。今回は基幹システム側で発生する接続費用を含んで提示すること。さらに、提案システムおよびサーバ（7年間）の保守費用を別途提示すること。

なお、システム利用可能施設、機器接続台数をもとにシステム提案すると共に、今回提案ベンダ名を記載し提示すること。

### 1. ソフトウェアについて

#### 【基幹システム】

##### ・電子カルテシステム

各職種の電子記録における入力支援機能（テンプレート・定型文入力）を提供すること。また、医療辞書ソフトによる医師入力支援も提案すること。なお、医療辞書は個人単位での学習機能を有し、どの端末でも自身の学習用語をダウンロードできる機能を有すること。

##### ・入院外来フルオーダーリングシステム

診療予約、移動・食事、処方、注射、検査（検体、病理、細菌、放射線、生理、内視鏡）、病名、処置、指示簿、手術、依頼（リハビリ、栄養指導、服薬指導、NST、透析、退院支援等）、持参薬の各種オーダー対応を有すること。

- ・ **看護業務支援システム**

病棟マップ、患者スケジュール、ワークシート出力、経過表、看護計画、観察項目、看護必要度、転倒転落アセスメント、指示簿管理、指示・実施入力、看護サマリ、家族歴、バーコード3点認証など、病棟業務で必要となる機能を含めること。

- ・ **医事会計システム**

患者照会・登録、患者受付、オーダ未実施チェック、会計処理の機能を含めること。

- ・ **レセプトチェックシステム**

医事会計システムで作成した UKE ファイルをチェックできること。端末は医事会計システムのものと同じであること。

- ・ **DI (薬剤情報) 参照システム**

DI 参照に関する薬剤マスタの、月1回の定期更新費用を含めること。

- ・ **NST 管理機能**

NST 依頼確認、栄養分量、チャート、栄養管理計画書の機能を含めること。

- ・ **DPC 調査票システム**

DPC の調査票出力や様式 1・4、D、E、F、H ファイル作成機能を含むこと。

- ・ **入出金機能**

医事会計システムと連動した入出金管理機能を機能に含めること。

- ・ **未収金管理**

医事会計システムと連動した未収金管理・未収金明細および督促状や未収金明細表の作成機能を含めること。

- ・ **救急システム**

救急日誌、救急患者の受付・集計機能を含めること。

- ・ **院内メール、掲示板、ポータルサイト機能**

院内メール、掲示板、ポータルサイト機能を含めること。

- ・ **チーム医療システム**

褥瘡 (WOC)、ICT、NST、緩和ケア、摂食嚥下療法、退院支援をはじめ、乳腺外来・ヘルニア外来・巻き爪外来・肛門外来・糖尿病外来・禁煙外来・AGA 外来・リウマチ外来・漢方外来など、当院で行っている専門外来に対して記録・管理する機能も含めて提案すること。

- ・ **相談室記録**

相談記録および相談数の集計機能：ID 未付与患者の管理機能を含めること。

- ・ **オーダ時チェック機能**

相互作用チェック (併用禁忌・注意、適応病名、禁忌病名、投与日数上限、投与量、薬物禁忌情報) の機能を含めること。チェック用の薬剤マスタは月1回更新される仕組みとすること。

- ・ **文書ファイリングシステム**

通常のスキャン機能に加えて、連続読取によるバーコード一括読込・格納機能を含めること。

- ・ **電子署名システム**

書類保管庫スペース削減のための、電子署名 (タイムスタンプ) 機能をもつ文書管理システムを提供すること。具体的には、上記文書ファイリングシステムにて登録された文書を電子署名

(タイムスタンプ)することによってPDFを原本扱いとできるようにすること。

- ・ **インシデント・アクシデントシステム**

院内のヒヤリ・ハットの管理を及び、各種統計出力が可能なシステムを提案すること。

- ・ **介護医療院(12床)の電子カルテ対応**

当院介護医療院にて、各検査オーダー、食事オーダー、カルテ記録、病棟マップが利用でき、医療と介護医療院の記録を一画面で閲覧を行うことができること。

また病院入所系介護請求対応、LIFE(科学的介護情報)提出用データ作成を含むこと。

- ・ **院外電子カルテシステム利用端末**

往診・施設用の外部リモート環境構築、持ち出しノートPC 2台、モバイルプリンタ 2台を含むこと。必要となるNTT光回線、モバイルWi-Fiは病院側で調達する想定とする。

- ・ **経営支援(データ集計・分析)**

医療情報データから病院経営を支援する機能を有すること。

### **【部門システムおよび機器】**

システム名の後ろにメーカー指定(【 】で記載している)があるシステムについては既設システムとの連携を提案すること。尚、既存システム側で発生する連携費用は当院調達とする。メーカー指定の無いシステムについては推奨システムを提案すること。ただし可能な限り基幹システムベンダーが開発したシステムを提案すること。また下記記載の機能を満たすシステム内容で提案すること。

- ・ **オンライン資格確認【アルメックス社】**

現行の顔認証付きカードリーダー、オンライン資格確認端末との連携を含めること。

電子カルテ側の医療扶助対応、マイナンバーの診察券利用対応を含めること。

- ・ **調剤支援システム【ユヤマ社】**

電子カルテシステム側の処方オーダー連携を含めること。

- ・ **持参薬管理システム**

持参薬管理機能を有すること。または代替システムを提案すること。

- ・ **服薬指導システム**

服薬指導機能を有すること。または代替システムを提案すること。

- ・ **透析管理システム【東レ社】**

電子カルテシステム側の属性、予定管理、実績、記録連携を含むこと。

- ・ **健診システム【システムハウスクリエイト社】**

電子カルテシステム側の健診システム連携(患者属性)を含むこと。

- ・ **検体検査システム【システムハウスクリエイト社】**

電子カルテシステム側の検体検査システムとの接続連携費用を含むこと。

- ・ **細菌外注検査【BML社】(USB連携)**

電子カルテシステム側の細菌外注検査連携を含むこと。

- ・ **内視鏡レポートシステム(JEDレポート)**

日本消化器内視鏡学会 JED Project に準拠したレポーティングシステムを含むこと。  
オーダー情報・実施情報・テンプレートからの情報を収集し、提出用データの抽出が可能なこと。

・ **画像検査情報管理システム (RIS)**

放射線検査、生理検査、内視鏡検査オーダーの受付・実施機能を含めること。

・ **放射線画像管理システム (PACS) 【ジェイマックシステム社】**

電子カルテシステム側の患者属性、オーダー情報連携を含めること。

・ **レポートシステム 【ジェイマックシステム社】**

電子カルテシステム側の患者属性、オーダー情報連携を含めること。

・ **リハビリシステム**

リハビリ依頼確認、予定管理、実施登録、評価機能、医事算定連携含めること。

・ **栄養管理システム**

食事オーダー(三食オーダー対応を行うこと)と連携して食札・食事箋・食数表の作成、献立作成、発注・納品管理、在庫・棚卸管理、統計および提出書類作成機能を含めること。

・ **栄養指導システム**

栄養指導依頼確認、指導予約枠管理、指導記録、指導料・医事算定連携を含めること。

・ **医事・診療 DWH**

看護支援システムを含む基幹システムデータを集約して DWH として利用できるようにシステムを構築すること。また、提案時にはどのシステム範囲までが DWH でカバーできるのかを明示すること。

・ **地域連携(紹介/逆紹介管理/退院支援)システム**

患者紹介・逆紹介業務、退院支援業務に係る管理・統計機能を含めること。

・ **看護勤務表作成システム**

勤務希望・実績入力、勤務表出力、各種管理日誌(看護、病棟、手術など)、様式9作成の機能を含めること。

・ **外部バックアップ(データセンター等)**

BCP 対策、ランサムウェア対策に備え、外部リアルタイムバックアップを含めること。

またバックアップデータは世代管理を行うこと。

・ **二要素認証(医療情報システムの安全管理に関するガイドライン)**

二要素認証機能を有すること。また二要素認証用 IC カードリーダーを今回調達電子カルテシステム用の全端末台数分含めること。

・ **電子処方箋システム**

電子処方箋機能を有すること。また HPKI カードリーダーを今回調達の電子カルテシステム用の全端末台数分含めること。

・ **診断書作成支援システム 【ニッセイ情報テクノロジー社】**

診断書作成支援システムのリプレイスと接続連携を含めること。

・ **再来受付機システム**

再来受付機システム、再来受付機1台分との接続連携を含めること

## 2. ハードウェアについて

### 【サーバ構成の考え方について】

ハードウェア障害に備え、別筐体にバックアップを行うこと。また、災害や回線工事等で、主たるサーバおよび保守回線が使用できない状況でも、緊急時参照用のサーバを各院に用意して過去の診療記録を参照できる構成とすること。

その他要件としては、下記を参照のこと。

- ・サーバ室のスペース効率や障害発生を少なくする為、極力システム間のインターフェースを少なくした最小構成での提案をすること。
- ・保守については7年間365日24時間オンサイト保守費用を含むこと。

### 【クライアント・プリンタ構成等の考え方について】

各電子カルテベンダは、上記導入システム範囲、及び当院要求仕様を満たすアプリケーションソフトを提案する観点より、提案アプリケーションソフトの動作条件を満たすクライアントのスペックを明示すること。各種プリンタやATOK（ジャストシステム社）医療辞書ソフト、ウィルス対策ソフト（サーバおよびクライアントPC全台を対象とする）をそれぞれ下記台数で提案・見積ること。

なお、その他ハードウェアに関しては、特に指定がない場合は原則として提案するハードウェア機器の標準保守期間で提示してよいものとする。

その他要件としては、下記内容とする。

- ・今回導入する各々システムは、クライアントPCにおいて相乗り運用が行えること。システムが配置されている個所に、〇〇システム専用PCという配置がなるべく無いように選定すること。

### <ハードウェア一覧表>

項	品名	台数
1	電子カルテ・オーダーリング・医事会計サーバ、 緊急用参照サーバ、その他部門サーバ	推奨台数
2	クライアントPC（デスクトップ）医事・電子カルテライセンス 保守5年 OS：Windows 11 Pro CPU：Intel Core i5-12500 プロセッサ以上 メモリ：DDR4 8GB 以上 HDD：NVMe SSD 256GB 以上 モニタ：21インチ以上ワイド TFT	70
3	クライアントPC（ノート）医事・電子カルテライセンス 保守5年 OS：Windows 11 Pro CPU：Intel Core i5-1235U プロセッサ以上	25

	メモリ：DDR4 8GB 以上 HDD：NVMe SSD 256GB 以上 モニタ：15.4 インチ以上ワイド TFT	
4	端末セットアップ、現地展開・設置作業	97
5	ATOK 医療辞書	97
6	ウィルス対策ソフト（サーバ分も含むこと）	推奨数量
7	CAL	98
7	Microsoft Office Professional	1
8	Microsoft Office Standard	96
9	Surface Pro 10 13 型 ※内視鏡室用 OS：Windows 11 Pro CPU:Core Ultra5 135U メモリ:8GB SSD:256GB Surface Pro キーボード Surface マウス	1
10	A4 モノクロ 5 年保守	13
11	A3 モノクロ 5 年保守	13
12	A3 カラー 5 年保守	2
13	検体・注射ラベルプリンタ	12
14	リストバンドプリンタ	2
15	A4 シートフィードスキャナ	8
16	1 次元バーコードリーダー	20
17	職員 ID カード作成 300 枚 ※二要素認証用	1
18	IC カードリーダー ※二要素認証用	98
19	HPKI カードリーダー ※電子処方箋用（二要素認証併用可）	98
20	USB3.2 Gen1 4 ポート スリムハブ	98
21	再来受付機	1
22	自動釣銭機（POS 機能含む）	1
23	院外持ち出し用ノート PC	2
24	院外持ち出し用プリンタ	2

### 3. システム保守について

システム保守については、電子カルテシステムというシステムの重要性や特殊性から、リモートメンテナンスによる迅速なサポート対応とすること。また基幹システム（電子カルテ・オーダーリング・看護支援・医事会計システム）は、最低限 24 時間 365 日の提案ベンダ所有のコールセンターによる一次受付窓口を設置して対応すること。

ハードウェアに関しても、重要機器の保守については24時間365日の迅速な対応が求められるため、サーバの状態やディスク容量を提案ベンダにより毎日監視することとし、ハードウェア障害発生時には、サーバメーカーによる保守拠点からの駆け付け対応を行うこと。

今回はパッケージベースでのシステム導入を前提としている。稼働実績の積み上げからの障害低減及び、機能アップ（年2回以上実施すること）により最新のクライアント環境や診療報酬改定の対応をサポートしながら常に成長し続けるシステムを目指していることが理由である。診療報酬改定についても、ソフトウェアの機能アップに含めて提案することとし、保守費用内で改定対応やOSバージョンアップ対応を行う想定で見積もりを作成すること。

なお、電子カルテ・看護支援システムメーカーと医事システムメーカーは連携不要な同一メーカー製品であることを推奨し、システム障害時には両システムについて窓口一本化された問い合わせ先より、開発と保守部門間で迅速な連携が可能な体制を要すること。

また前述の通り、将来的に新OSが発表された場合、既存システムが新OSに随時対応することで長期的に同一システムを使用できること。

#### 4. その他

- ・一次電源工事およびネットワーク配線工事費用は、今回の見積もりには含めないものとする。
- ・データ移行について

既存システムから下記のデータの移行をするための入れ込み費用を見積もること。

移行方法については、各ベンダが提案することとし、移行元データは当院から提供する。

現行電子カルテシステムからのデータ移行項目は医事会計システムに必要な患者属性情報（基本情報、病名、保険、入退院歴、最終来院日）、処方（過去）オーダ、臨床検査結果を最低限データ移行すること。

#### 5. 提出方法

プロポーザル説明書に準ずる。

以上